【改定履歴】　　配水管工事標準構造図

制定日:　　令和4年4月
改定日:　　令和6年5月

改定日付	ページ数	改定内容	備考
令和6年5月	No. 1 No. 2 No. 5	弁筐の芯を示す寸法を追記した。	
〃	No. 8	各種材料の設置位置や向きについて、管軸方向からみた図面となるように修正。 補修弁レバーの設置向き(左開き)を追記。 GL～消火栓のキャップまでの余裕高を「200～400mmまで」に修正。 「施工管理について特に配慮する事項」の文章を追記。	
〃	No. 11	余裕高の基準の変更(GL～消火栓のキャップまでを200～400mmとする)に合わせて、材料の組合せ表（土被り750mm以上について掲載）を修正した。	
〃	No. 12	第二種改良土(管上10cm)を図面上に追記。 「防食被覆について」「地権者の同意と路上接続について」の文章を追記。	
〃	No. 16	「参考図」とする旨を追記した。	
〃	No. 17	標準掘削寸法とスリーブ被覆方法について『水道配水用ポリエチレン管工事標準仕様書』に準じる旨を追記した。	
〃	No. 18	「消火栓室築造工　標準構造図（耐震補修弁仕様）」を追加した。	耐震補修弁の採用による変更。
〃	No. 19	「消火栓室築造工 配管材等材料組合せ(耐震補修弁仕様)」を追加した。	同上。
〃	No. 20	「各種蓋(消火栓、仕切弁、止水栓)の設置基準」を追加した。	設置後の維持管理を踏まえ、設置基準を追加した。